

政策コンメンテーター報告(第1回)(意見照会期間:2017年4月10日～4月19日)：佐々木 かおり 株式会社イー・ワーマン代表取締役社長 株式会社ユニカルインターナショナル代表取締役社長

質問事項		記述式回答
個人消費の動向		
1	個人消費の動向をどうご覧になっていますか。また、そのような動向となつている要因やメカニズムについて、お考えをご教示ください。	少しづつ回復しているように感じる。
消費の活性化		
2	消費を活性化するために、どうしたらよいとお考えでしょうか。	モノよりもコトに消費するようになると、生活も豊かになるので、旅、学び、食事、運動などへの誘導をすることが大切だと思います。
プレミアムフライデー		
	効果	効果があったと考えていない。
	早帰りを促すための工夫	
3	本取組を消費拡大につなげるための工夫	
	本取組を続けていくための工夫	
	その他	人々の生活習慣を変えるためには、百貨店や商店も閉じ、街全体が休むことをして、単純に、小さな買い物を増やすのではなく、ミニ旅行など、多くの人々が「休む」ことをライフスタイルにしていく必要があるでしょう。